

ハーブティ

～女と男をかんがえる～ ハーブティ:「ハーブ (herb)」は薬草のことで、茎や葉を生あるいは乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女と男も互いにバランスのとれたよい関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いがこめられています。

「私たちにできること・・・こんな経験ありませんか？」

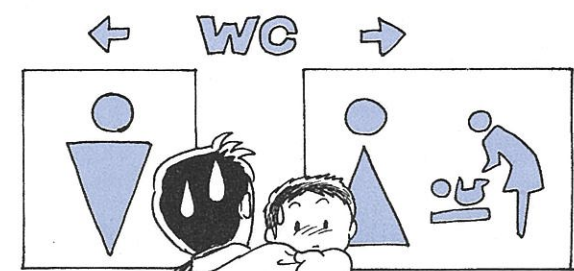
私たちが日常生活を見つめ直した時、あまり不思議な事と思わず、または多少疑問を感じながらもそのまま通りすぎてしまった事が意外に多いのではないのでしょうか。

今回、私たちの身近な4つの場面から、私たちにできることを考えてみました。

子育て



今日は仕事が休みなんだけだなあ・・・やっぱり違和感があるなあ。



男子トイレにもベビーベッドあるよね・・・?

子育ては父親、母親それぞれ役割が違って二人で行うもの。パパがいっしょならお子さんだって嬉しいはず。自信を持って子育てに参加しましょう。

地域活動



男性の仕事、女性の仕事と思いついていませんか？地域だからこそ男性、女性という決めつけはなくしましょう。



介護



介護する側はどうしても頑張りすぎ、孤独になりがちです。少しリラックスしてフリーになる時間を持つ余裕と勇気を。そのためにはいろいろな人の協力が必要です。残念ながらサポートのしくみが整っていないのが現実です。介護の悩み、不安を身近に話せる場所がほしいです。

働く



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは言うけれど・・・ワーク・ライフ・バランス：一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、育児、地域活動、介護、家事なども行い、バランスのとれた生き方のできる社会実現に向けて、一人ひとりが取り組んでいきましょう。

おわりに

「ふだんの生活で気づいたことを言葉にして発信してみる」
「一歩踏み出す勇気を持って自信を持って行動してみる」
日常生活でこれらのことができれば、自然と人とのつながりが生まれ、コミュニケーションを通してお互いを理解し、尊重することができます。一人ひとりの行動が男女共同参画の実現に向けての一歩かもしれません。
私たちが今できることから始めてみる・・・それがたいせつです。

ハーブティサロン紹介

ごぞんじですか？ハーブティサロン
暮らしの中で「？」と思うあんなこと、こんなこと・・・ハーブティ片手にのんびりおしゃべりするところです。
毎月第4日曜午後、はびすしらおか2階会議室2でオープン！



次回は9月27日(日)
テーマは「ブルーな気分」です。
ハーブティサロン担当



しらおか男女共生広報紙編集委員
小野寺晴美 笠井朋子(イラスト) 渡辺あづさ
ご意見、ご感想をお待ちしています。
町民活動推進課人権担当 内線354